

別記様式1

消防訓練実施計画(報告)書

27年 4月 24日

逗子市消防長

代表者 医療法人社団柏信会
 (防火管理者) グループホーム「櫻」
 氏名 管理者 須山 司



次のとおり、消防訓練を 計画しました ので報告します。
 実施しました

所在地	逗子市桜山6丁目1326番	
名称	医療法人社団柏信会 グループホーム「櫻」	
日時	平成27年 4月 16日 13時 30分～ 14時 30分	
訓練の種類	消 火 ・ 通 報 ・ 避 難 ・ その他	
訓練の概要	<p>目的 近々起こると言われている首都直下型地震に対してシミュレーションを通して避難訓練を行い災害時における避難誘導等の問題点をあぶり出し、安全の確保に繋げる。</p> <p>訓練内容 ①地震発生時の対応・利用者の安全確認、館内状況の確認 ②消火器による初期消火 ③各ユニットの連携 ④非常口からの避難誘導 ⑤エレベーター使用不可での避難</p>	
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄

備考 ※印の欄は、記入しないこと。

防災防火訓練 災害発生時のシミュレーション内容

発生状況

- ・平成 27 年 4 月 16 日、13 時 40 分、関東南部を震源とした M7 の地震発生。
 逗子市震度 6 を観測。
 グループホーム「櫻」においても大変強い揺れが起きる。
 約 2 分後地震収束するも余震が続く。

安全確保

- ・地震発生より、安全確保のための声掛け及び行動を各ユニット職員で開始
- ・利用者状況により、テーブル下への避難、クッション等による頭部の保護
- ・パニック回避のための声掛け

発生後状況

- ・利用者、職員の安否確認の結果、各ユニットともに無事であるが、利用者の不安感が増大しており、各居室まで目が届かないため、利用者をホールに誘導する。
- ・安否情報を管理者へ報告

火災

- ・1 階厨房コンセントより煙を確認、火災対応マニュアルをもとに初期消火に努める
 （発見者により大声で付近に知らせる。防火管理者へ連絡。厨房に備えている消火器にて消化、防火管理者により鎮火確認。

施設状況

- ・各ユニット共通・・・停電、玄関外ドアガラス破損、居室内散乱
- ・1 階・・・1、3、6、7 号室の窓ガラス破損、居室ドアゆがみ、ホール窓にヒビ
 トイレドア開閉不能
- ・2 階・・・脱衣室物品落下にて使用できず、食器類破損
- ・各ユニット状況を管理者に報告

職員連携

- ・管理者は各ユニットからの報告により、1 階利用者を被害軽度な 2 階へ誘導することを決定。
- ・利用者誘導にて 1 階の職員だけでは安全な避難誘導が困難と判断し 2 階の職員と連携

を取り避難誘導にあたる。

- ・2階職員は、1階利用者の誘導に備え、椅子等、タオルケット、救急箱等の備品を準備。

避難誘導

- ・玄関ガラス破損等により利用者の安全を考慮し、1階脱衣室より外へ誘導。
- ・1階玄関前にて利用者集合（2階より職員待機）
- ・エレベーター使用不能のため、階段にて安全を確保しながら1名ずつ介助を行い、2階へ誘導
- ・2階玄関もガラス破損しているため、西側非常口（8号室隣）を使用し、館内へ誘導する。
- ・2階ホールへ全員誘導した後に点呼確認、全員無事に誘導することができる。



防災防火訓練概要

実施日時	平成27年3月25日
場 所	グループホーム「櫻」
参加者	職員及び入居者（健康状態による）
訓練時程	以下の通り

記

13:30	訓練場所集合 訓練目的の説明 シミュレーションの確認 対応手順の確認
13:40	シミュレーション開始 ① 地震発生時の安全確保 ② 地震収束後の安否確認、状況確認、報告 ③ 初期消火（1階） ④ 各ユニットの連携確認 ⑤ 避難誘導（1階から2階へ） ⑥ 全員点呼、
14:10	シミュレーション終了 利用者居室誘導
14:20	総括
14:30	訓練終了